



## 平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 サイバーステップ株式会社  
コード番号 3810 URL <http://www.cyberstep.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 類

TEL 03-5465-1500

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	531	△5.1	△15	—	△23	—	△49	—
22年5月期第2四半期	560	49.8	△49	—	△58	—	△90	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	△2,479.03	—
22年5月期第2四半期	△4,576.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	880	593	60.6	26,933.54
22年5月期	940	637	62.1	29,452.60

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 533百万円 22年5月期 583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	△26.3	△64	—	△69	—	△104	—	△5,256.20

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- |                     |          |         |          |         |
|---------------------|----------|---------|----------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年5月期2Q | 21,755株 | 22年5月期   | 21,755株 |
| ② 期末自己株式数           | 23年5月期2Q | 1,943株  | 22年5月期   | 1,943株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 23年5月期2Q | 19,812株 | 22年5月期2Q | 19,743株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(第2四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、円高の進行、輸出・生産の鈍化や厳しい雇用情勢等が景気に与える影響も不透明であり、依然として景気の先行きには予断を許さない状況が続いています。

わが国のオンラインゲーム市場においては、前連結会計年度に引続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。また、ユーザー同士がコミュニケーションを取りながら楽しむソーシャルゲームや、Webブラウザのみで楽しめるブラウザゲームなどが幅広い層へと広がっており、新たな成長市場が続くと予想しております。

このような経済状況のもとで当社グループは、創業時から一貫して単独で国際競争力のあるオンラインゲームの開発を続け、日本国内はもとより海外各国の運営会社との協力関係を深めながら、日本を含め広く15カ国地域のユーザーの皆様にも魅力あるゲームを楽しんでいただいております。

当第2四半期連結会計期間には、北米・アジア方面にゲームタイトル『ゲットアンプド2』『コズミックブレイク』のサービス提供の開始に向けた準備を進めました。また、前連結会計年度より続いている海外の既存サービス地域において足踏み状態、新規ゲームタイトルの正式サービス開始の遅れなどの影響を受けましたが、コストの抑制を継続的に進め、グループ全体の経営の効率化、体質強化を図り、企業価値の更なる向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間においては、ロイヤリティ等売上高は132百万円（前年同期比15.3%増）、自社運営売上高は168百万円（前年同期比9.8%増）、売上高合計で301百万円（前年同期比12.2%増）となりました。利益面につきましては売上高の増加と経費削減により、営業利益46百万円（前年同期は営業損失15百万円）、経常利益44百万円（前年同期は経常損失21百万円）、税金等調整前四半期純利益44百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失21百万円）となりました。

海外からのロイヤリティ収入及び入金ライセンス料に係る外国税額について控除しきれない金額が発生し、法人税等を16百万円（前年同期比6.1%増）計上し、最終的には四半期純利益は27百万円（前年同期は四半期純損失36百万円）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報ごとの記載をしておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、880百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少82百万円及び売掛金の増加23百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、286百万円となりました。これは主に、前受金の増加が19百万円ある一方で、長期借入金の減少7百万円の他、未払費用等のその他流動負債の減少26百万円が生じたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、593百万円となりました。これは主に、新株予約権の増加が5百万円ある一方で利益剰余金の減少が49百万円生じたことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末に比べ59百万円減少し、432百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

##### a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益44百万円の計上、前受金の増加19百万円による資金の増加がある一方で、売上債権の増加32百万円、法人税等の支払額13百万円による資金の減少があり、結果として1百万円の資金の増加（前年同期は6百万円の減少）となりました。

##### b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主として定期預金の預入による支出50百万円により56百万円の資金の減少（前年同期は重要な増減なし）となりました。

##### c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の返済による支出3百万円により4百万円の資金の減少（前年同期は47百万円の増加）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年1月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、依然として先行き不透明な外部環境が続くと想定されるため、平成22年7月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

〔将来予想に関する事項と事業等のリスク〕

本発表において提供される資料並びに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などに不確実性に基づくものを含んでおります。したがって、様々な要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本及び国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。なお、これらのリスクは本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

新規ゲームタイトルがヒットしなかった場合のリスク、自社運営サービスが思うように進められなかった場合のリスク、ユーザーの個人情報に関するリスク、システム障害に関するリスク、人材の確保に関するリスク、為替変動によるリスク、海外のライセンス供与先の事業環境の変化によるリスク。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

提出会社は、有形固定資産の償却方法として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、当第2 四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

#### ② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

当第2 四半期連結累計期間(自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)

(i) 前第2 四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払利息」(前第2 四半期連結累計期間1,535千円)は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2 四半期連結累計期間では区分掲記しております。

(ii) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2 四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

当第2 四半期連結会計期間(自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)

(i) 前第2 四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払利息」(前第2 四半期連結会計期間773千円)は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2 四半期連結会計期間では区分掲記しております。

(ii) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2 四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示

しております。

#### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは前連結会計年度において、経営計画達成のための諸施策の取り組み及び海外における正式サービス開始に伴うライセンス売上高計上等により、前々連結会計年度に計上した重要な営業損失等から転じて、営業利益、経常利益、当期純利益を計上するとともに、営業キャッシュ・フローのマイナスを解消いたしました。しかしながら、次年度の損益が悪化する見通しとなるなど、経営状態が安定したと判断できる状況には至りませんでした。

当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間における営業損失、経常損失、四半期純損失、営業キャッシュ・フローのマイナスから転じ、営業利益、経常利益、四半期純利益、プラスの営業キャッシュ・フローを計上するに至りましたが、当社グループを取り巻く事業環境は楽観を許さない状況下であり、現時点では経営状態が安定したと判断できる状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要事象等の存在を完全に払拭するには至っておりません。

当該状況を解消し、また改善するために以下の対応策を実施してまいりました。

- ・ 外部委託者に対する新規の発注を控え、オンラインゲームの製作に注力することにより会社全体としての開発コストを抑制し、オンラインゲームの内容の充実及び新規タイトルの開発を進めることで収益力向上を図る。
- ・ 販促費を収益力に見合った水準に適正化し、これまでの日本国内での自社運営で培った社内ノウハウを活かしながら最大効率化を目指す
- ・ 中途採用などの採用計画の見直しを常に行い、同時に現社員の業務最適化を図る等により、人件費および外部委託費を抑制する
- ・ 海外運営会社と協力体制を強化し海外での新規タイトル有料化スケジュールを早期に明確化し、ライセンス料収入を確実に計上する
- ・ 取引金融機関との間で必要な借入極度枠を設定する等、資金調達を行うことを通じ、手許資金の安定化・財務基盤の強化に努める

上記対応策への取り組みを継続し、支出を抑制しながら効率的な事業活動を行い、かつ、当社グループ開発の新規オンラインゲームの各国・地域での立ち上げを着実に実行しロイヤリティ等の収入を確保すると同時に、日本国内、北米における自社運営の収益力をさらに高めることにより、損益及び営業キャッシュ・フローの改善を図っております。

以上のように、当第2四半期連結会計期間においては継続企業の前提に関する重要事象等は存在しているものの、既の実施している施策を含む効果的かつ実行可能な対応を行うことにより、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

当社グループの、質の高いエンターテインメントとしてのオンラインゲームを、日本を含めた世界各国にライセンスしてきた技術力と運営実績という強みを活かし、今後も事業拡大を図り業績の向上に注力してまいります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	583,259	665,998
売掛金	120,239	96,669
原材料及び貯蔵品	75	179
その他	21,967	19,570
流動資産合計	725,542	782,417
固定資産		
有形固定資産	46,984	55,987
無形固定資産		
その他	5,765	7,272
無形固定資産合計	5,765	7,272
投資その他の資産		
保証金	87,317	87,188
その他	14,415	7,235
投資その他の資産合計	101,732	94,423
固定資産合計	154,483	157,683
資産合計	880,025	940,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,077	2,425
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	15,144	15,144
未払法人税等	9,143	8,687
前受金	28,874	8,979
その他	77,958	104,364
流動負債合計	193,198	199,601
固定負債		
長期借入金	93,114	100,686
その他	198	1,988
固定負債合計	93,312	102,674
負債合計	286,510	302,275
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,895	334,895
資本剰余金	324,895	324,895
利益剰余金	87,616	136,730
自己株式	△210,171	△210,171
株主資本合計	537,234	586,349
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△3,627	△2,834
評価・換算差額等合計	△3,627	△2,834
新株予約権	59,908	54,311
純資産合計	593,515	637,826
負債純資産合計	880,025	940,101

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	560,593	531,968
売上原価	200,359	173,901
売上総利益	360,233	358,067
販売費及び一般管理費	409,807	373,468
営業損失(△)	△49,573	△15,400
営業外収益		
受取利息	184	186
還付加算金	69	—
その他	6	40
営業外収益合計	260	226
営業外費用		
支払利息	—	1,979
為替差損	7,361	5,277
その他	2,127	591
営業外費用合計	9,488	7,847
経常損失(△)	△58,802	△23,021
特別利益		
新株予約権戻入益	2,280	2,229
特別利益合計	2,280	2,229
特別損失		
固定資産売却損	1,440	—
固定資産除却損	87	—
特別損失合計	1,528	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△58,049	△20,792
法人税、住民税及び事業税	32,301	28,321
法人税等合計	32,301	28,321
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△49,114
四半期純損失(△)	△90,351	△49,114

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	268,437	301,097
売上原価	98,859	83,616
売上総利益	169,577	217,480
販売費及び一般管理費	184,729	170,588
営業利益又は営業損失(△)	△15,151	46,891
営業外収益		
受取利息	58	66
還付加算金	36	—
その他	6	16
営業外収益合計	101	83
営業外費用		
支払利息	—	1,031
為替差損	4,908	982
その他	1,157	239
営業外費用合計	6,066	2,254
経常利益又は経常損失(△)	△21,116	44,720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,116	44,720
法人税、住民税及び事業税	15,861	16,836
法人税等合計	15,861	16,836
少数株主損益調整前四半期純利益	—	27,884
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,977	27,884

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△58,049	△20,792
減価償却費	15,275	12,818
長期前払費用償却額	2,538	42
株式報酬費用	13,777	7,826
新株予約権戻入益	△2,280	△2,229
受取利息	△184	△186
支払利息	1,535	1,979
為替差損益(△は益)	5,694	4,440
固定資産売却損益(△は益)	1,440	—
固定資産除却損	87	—
売上債権の増減額(△は増加)	37,412	△23,956
たな卸資産の増減額(△は増加)	221	103
仕入債務の増減額(△は減少)	△598	△308
前受金の増減額(△は減少)	22,294	19,894
未払費用の増減額(△は減少)	△7,562	△9,314
その他の資産の増減額(△は増加)	7,035	△3,373
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,620	△19,226
小計	35,017	△32,283
利息及び配当金の受取額	184	167
利息の支払額	△1,891	△2,004
法人税等の支払額	△33,778	△27,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	△467	△61,188
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,000	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△1,113	△2,451
有形固定資産の売却による収入	692	—
子会社株式の取得による支出	—	△2,069
その他	△3,618	△4,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,039	△58,983
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,264	△7,572
ストックオプションの行使による収入	800	—
リース債務の返済による支出	—	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,536	△7,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,758	△4,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,728	△132,693
現金及び現金同等物の期首残高	450,512	565,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	443,783	432,717

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、同一セグメントに属するゲームの開発、運営を行っております。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年9月1日 至平成21年11月30日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年11月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	243,609	8,720	252,329
II 連結売上高（千円）	—	—	560,593
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	43.5	1.6	45.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…韓国、中国、台湾、タイ

(2) その他の地域…南米、北米、欧州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成22年6月1日 至平成22年11月30日）

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。